

幼小合同学習指導案

平成 28 年 11 月 18 日（金）

1 単元名 あきとふれあおう ～ようこそ、あきまつり～

2 子どもの実態と単元設定の理由

《子ども観》

【1年生】

児童は、これまで夏の自然の様子について話し合ったり、夏の遊びや野菜づくりを行ったりして、季節の様子を、実感を伴いながら楽しんできた。また、それらの活動を経験する中で感じたこと、気づいたこと、考えたこと、見つけたことを絵や文にかき、表現することの楽しさも少しずつ感じてきている。他者との関わりでは、学級の友達だけでなく、野菜づくりを通して地域の人とつながったり、水遊び交流会やじゃがいも掘り交流会を通して園児と一緒に活動したりして、人と触れ合う楽しさやよさを味わってきている。しかし、一方で願いや思いがなかなかもてず受身的になったり、自分で考えて取り組むことが苦手な主体的になれなかったりする児童も見られる。

【さくら】

園児は、これまで栽培活動や園外保育の散歩などで、身近な自然に触れてきた。そしてそこで出会う葉っぱや木の実、草花から形や色の美しさや面白さを感じてきている。また、段ボールや牛乳パックなどの身近なものや草花や木の実など自然のものに興味をもち、それらを使った遊びを行うことで、自分たちの思いを自分たちなりの方法で表現することも体験している。そして、らっきょう漬けやさつまいもの栽培を通して地域の人にお世話になったり、遊びを通して保育園児と関わったりして、人と触れ合う楽しさも味わってきている。新しい環境に慣れるのに時間のかかる園児もいるが、交流会を繰り返すうちに親しみが湧き、笑顔で活動を楽しもうとする姿が少しずつ増えてきた。

《単元観》

本単元では、見る、触る、匂う、聴くなど、諸感覚を使って体全体で秋の自然と触れ合う中で、一年生は、自然や生き物、自分たちの生活の変化や、自然の不思議さや自然のものを使った遊びの面白さに気づいたりすることを、園児は身近な自然について思ったことを伝え合う喜びを味わったり、友達と一緒に協力して秋の遊びを楽しんだりすることをねらいとしている。一年生は、幼稚園で秋のものを使って教師と一緒に遊ぶ活動を経験してきており、自然のもので遊ぶことに親しみがあるため、「もっとこんな遊びがしたい。」「自分たちでやってみたい。」という思いや願いを膨らませていきやすい。また自分の作りたいものを、こだわりをもって作ったり、それを友達や園児に紹介して一緒に遊んだりすることで、主体的に活動する態度や有能感、思いやりの心や協調性が育ち、初等ブロックの目指す「自分も友達も大切に子ども」にもつながっていくと考える。園児は、木の実や葉っぱなど自然のものがおもちゃや遊びになる喜びや面白さを味わうことで、意欲や発想を自由に広げたり、友達や教師との関わりを深めたりしながら遊びに浸っていくことができると考える。

《指導観》

本単元では、第一次の「いろいろなあき、見つけた」、第三次「ようこそ、あきまつり」で幼稚園との合同学習を設定している。第一次では、校庭や地域にある「こどもの国」へ出かけ、視点をもって自然の様子を観察し五感を使って秋に触れ合わせる。仲良しペアで活動し、感じたことを友達と伝え合うことで、秋の様子や季節の変化について気づかせるようにしたい。また、一年生は園児のことも考えて行動しなければならないため、時には励まし、時には喜び合うことで、相手を大切に思う気持ちや自分のよさに気づけるようにする。園児にとっては、目的やねらいをもって散策することで自然を観察する気づきの力を高めたり、一年生と親しみをもって関わったりできるようにしたい。第二次では、秋のものを使って、おもちゃを作ったり遊びを考えたりして秋の実りを味わう。一人一人の思いや願いを大切に、目標をもって作る活動に取り組ませたい。また、試行錯誤する中で上手くいく方法を探ったり、

工夫したりする楽しさを感じさせるようにし、自分の思いが具現化していく達成感や遊びへの気づきが深まるようにしたい。第三次では、園児を招待して秋の楽しさを伝える活動に取り組む。みんなが楽しめる会にするために何が必要か自分たちで話し合わせ、協力して準備するとともに、思いや楽しさが伝わるような会にできるよう支援していく。本時では、ペア以外の児童・園児との関わりとなり、双方にとって新しい形での交流になるが、これまで育んできた思いやりの心を児童なりに表現して関わる場としたい。活動後は、園児との関わり方、遊びの中で新たに気づいたこと等を伝え合い、自分たちの成長や達成感を味わうとともに次の活動への意欲を高められるようにするとともに、園児にとっては遊びのアイデアを発展させたり、小学校への期待や夢を膨らませたりできる場としたい。

単元全体を通して一人一人が主体的に取り組むことができるように、思いや願い、不思議に感じたこと等をもとに課題づくりをしていく。そのためには、前時での振り返りから生まれた気づきや疑問点が重要になってくる。「学校周辺はこんな変化をしていたけれど、他はどうだろう?」「いろいろな葉っぱがあったけれど、もっときれいな色のはっぱを集めたいな。」等、子どもたちが「もっと〇〇してみたい。」と思う意欲を大切にしながら全体で共有し、課題設定をしていきたい。

3 単元の目標 (☆ 教科活動 ★ 初等ブロック)

【1年生】

☆落ち葉や木の実などの秋の自然と関わったり、それらを使って遊んだりして、季節の変化や自然の不思議さに気付くとともに、その楽しさを園児と交流することができる。

★思いきり遊び、達成感を味わったり自分や友達のよさに気づいたりし、自他を大切に思うことができる。

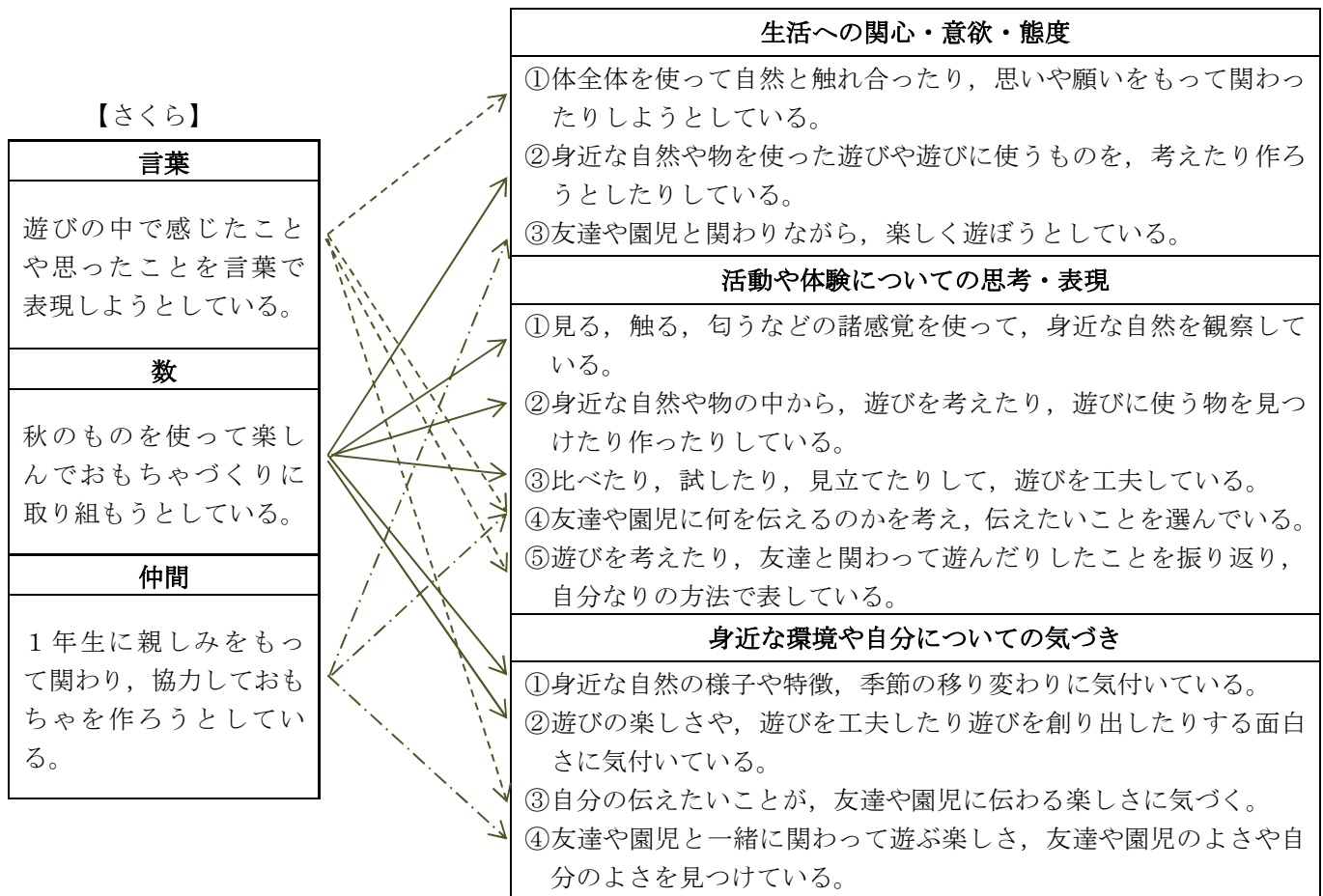
【さくら】

☆秋のものを使ったおもちゃづくりや遊びを楽しみ、1年生のよさや優しさを感じて、親しみをもって関ることができる。

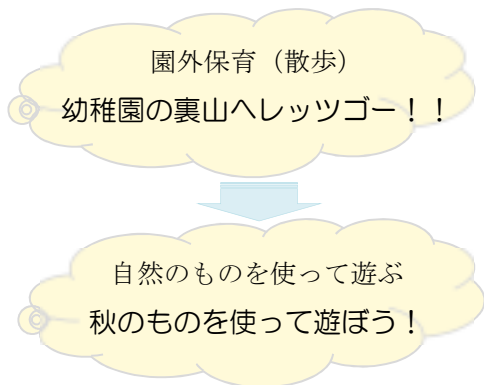
★身近な人と触れ合う楽しさや心地よさを味わい、積極的に関わろうとする意欲を高める。

4 評価規準

【1年生】



幼稚園



あき見つけ交流会 ～どんな秋が見つかるかな？～

・気づく力

・人と関わる力

・感謝の気持ち

合同学習



高めたい力

地域（こどもの国）で秋見つけをする（3）

・主体性

・自己有用感

・人と関わる力

・相手を思いやる力

(気)-①

【行動・発言】

- 見つけた秋について絵や文でかき表し、季節や自然の変化について気付いたことや、思ったことや願いなどについて話し合う。(2)

(思) - ① 【発言・ワークシート】

野菜の栽培

ほっくりほっくりさつまいも掘り

園外保育（散歩）

秋をもっと感じてみよう！

第二次 あきとあそぼう⑥

- 葉や木の実など、秋のものを利用して遊びを考えたり、おもちゃをつくったりし、秋の自然で遊ぶことの面白さや自然の不思議さに気づくことができる。

- ・集めた秋のものでどんなことをして遊んでみたいか話し合う。(1)

(関) - ② 【発言・行動】

- ・秋のものを使って遊んだり、おもちゃをつくったりして遊ぶ。(3)

(思) - ②③ (気) - ② 【発言・行動・ワークシート】

- ・学級の友達と一緒に準備をして遊ぶ。(2)

(思) - ④ 【行動・ワークシート】

第三次 ようこそ、あきまつり⑥

- 自分がこだわりをもってつくったおもちゃで友達や園児と一緒に遊び、できた喜びを感じたり、遊びをとことん楽しんだりすることができる。

- ・園児をあきまつりに招待する準備をする。(3)

(関) - ③ (気) - ③ 【行動・発言】

あき遊び交流会 ～ようこそ、あきまつり～

・言葉で表現する力

・人と関わる力

・感謝の気持ち



高めたい力

・主体性

・責任感

・自己有用感

・人と関わる力

・相手を思いやる力

(関)-③(気)-④

【行動・発言】

- ・「あきまつり」で遊んだことを振り返る。(1)

(思) - ⑤ 【発言・ワークシート】

小学校



第一次 いろいろなあき、見つけた⑥

- 諸感覚を使って自然を観察したり、葉や木の実、秋のものを集めたりして、校庭や学校の周りの自然の様子が秋になって変化していることに気づく。

- ・学校の校庭で秋見つけをする。(1)

(関) - ① 【行動・発言】

6 本時の指導

(1) ねらい

【1年生】自分のこだわりのおもちゃづくりや遊びを園児と一緒にすることを通して、一緒に関わって遊ぶ楽しさ、友達や園児のよさ、自分のよさに気づくことができる。 【気づき】

【さくら】秋のものを使ったおもちゃづくりを楽しみ、一年生のよさや優しさを感じ、親しみをもって積極的に関わろうとしている。

(2) 準備 <児童> 秋のものを生かして作ったおもちゃや遊び、遊びに必要な物

<教師> 道具 (テープ, ボンド, きり, 粘土, グルーガンなど)

材料 (秋のもの, 画用紙, カラーペン, 爪楊枝, 竹ぐし, ひも等)

(3) 展開

学習活動 ○発問 予想される反応 (1年生♥ 園児♡)	・指導上の留意点 評価 (1年生◆ 園児◇ 【観点】(方法)) ※手立て	時間
<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>園児 ○楽しい秋祭りをするためには、どうしたらいいかな？</p> <p>児童 ○秋祭りを成功させるためには、どうしたらいいかな？</p> </div> <p>♡いっぱいおもちゃを作りたいな。 ♡みんなと一緒に遊びたい。 ♥作り方を上手に教えてあげたい。 ♥優しく話す。 ♥いっぱい楽しめるように、みんなで協力する。</p>	<p>1 これまで遊んで楽しかったこと、工夫してきたことを想起させ、これからの園児との活動への意欲を高める。どんな秋祭りにしたいか問いかけ、楽しい祭りをするために、どんなことをしてみたいか、児童や園児の願いや思いを引き出し、課題づくりをしていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童や園児から出た言葉を板書し、活動中に意識できるようにするとともに、振り返りの視点となるようにする。(課題のキーワード ↓) <div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">♡たくさんおもちゃをつくる</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">♡なかよくあそぶ(1ねんせいも、ようちえんじも)</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">♥やさしくする。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">♥ともだちときょうりよくする。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">♥せつめいをがんばる。</div> </div>	5/5
<p>1ねんせい と さくらぐみの みんなで 「あきまつり」を せいこうさせよう！</p>		
<p>2 みんなであきまつりを楽しむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> </div> <p><どんぐり人形のコーナー></p> <ul style="list-style-type: none"> ♥こまに爪楊枝をさすときは、粘土の上でするとやりやすいよ。 ♥髪の毛は、どんぐりのぼうしを使うと面白いよ。いろんな種類があるけど、どれがいい？ 	<p>2 一年生は、自分の担当の場所へ行き、準備をさせる。園児は、自由に自分の作りたいおもちゃや遊びのコーナーへ行って活動してよいことを知らせる。人がたくさんいてできなさそうな時には、他の遊びから回るようにすることを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 思い切り楽しんだり、協力して遊んだりして関わっている児童や園児のよい姿を周りに伝え、関わり方の手本として意識させるようにする。(声のかけかた、サポートの仕方など) きりなどの道具を使うグループは、安全面に十分注意させるよう配慮する。(救急セットの準備) 道具等が足りなくなったときのために、材料コーナーを設けておき、児童が自由に使えるようにする。 活動の様子を写真に撮り、振り返りの際に想起しやす 	33/38

<p>♡教えてくれてありがとう。いろんなぼうしがあって面白いな。</p> <p>♡うまく顔が描けないなあ。どうしたらいいかな。</p> <p>♥粘土の上で描いたらいいかもしれないよ。</p> <p>♡本当だ。やった，できたよ。</p> <p>3 本時の振り返りをする。</p> <p>♥幼稚園の友達が楽しんでくれて大成功だった。</p> <p>♡○○さんが優しく教えてくれて嬉しかった。</p>	<p>いようにする。</p> <p>◆一緒に関わって遊ぶ楽しさ，友達や園児のよさ，自分のよさを見つけている。 【気づき】（行動・発言）</p> <p>※上手くできていない児童には，道具の使い方や次の手順等について声かけをして交流の仕方を支援し，交流することの楽しさを味わえるようにする。</p> <p>◇おもちゃづくりを楽しみ，一年生に親しみをもって積極的に関わろうとしている。</p> <p>※うまく交流できていない園児には，教師が添って活動を支援し，一年生との関わりにつながるよう声かけをしていく。</p> <p>3 課題のキーワードをもとに活動を振り返り，楽しかったことについて話す際には，理由も話すようにさせる。園児が楽しんでくれたのは，自分たちの頑張りや思いが伝わったからであることを共有し，達成感をもたせるとともに今後の活動の意欲付けとする。</p>	7/45
---	---	------

<初等ブロックの取り組み>

ブロック	<領域・単元> ○内容	身につけたい力	意識
初等	<p>幼稚園</p> <p><言葉・色水遊び，シャボン玉遊び> ○遊びの中で発見したことや疑問に思ったことを話す。</p> <p><数・あさがお，野菜の収穫> ○身近な事象に関心をもったり遊びに取り入れたりして動植物の生活に関心をもつ。</p> <p><仲間・鬼ごっこ，リレー，ボールぶつけ> ○戸外遊びに意欲的に取り組み，友達と一緒に遊びに発展させていく。</p> <p><地域・お花を飾ろう> ○地域の人と一緒に身近な自然を利用して花を飾る。</p> <p>小学校1年</p> <p><なつとなかよし> ○水遊びや砂遊びなど，友達と一緒に仲よく遊ぶ。 ○季節の変化で夏の様子について気づいたことを話し合い，友達と一緒に水遊びなどをして夏を楽しむ。</p> <p><あきとふれあおう（本単元）></p> <p><ふゆとなかよし> ○風や雪，冬の日ざし等を利用して遊び，自然に親しむ。 ○四季の変化や季節によって生活の様子が変わることを話し合う。</p> <p>小学校2年</p> <p><2年生になったよ> ○1年生の歓迎会を開いたり，春の自然や町の様子について友達や地域の人々と関わりながら調べたりする。</p> <p><はっけんくふうおもちゃづくり> ○身の回りのものを使って工夫しておもちゃを作り，友達や1年生・園児に伝え一緒に楽しく遊ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分の気持ちを言葉で表現する。 伝え合う心地よさを味わう。 身近な自然事象に興味や関心をもち，生活に取り入れて好奇心や探究心を深める。 友達と一緒に協力して目的を成し遂げる喜びを味わう。 地域の人と触れ合い地域の人の温かさを知る。 身の回りの自然に触れ，親しむ。 季節の遊びを通して自分たちの生活を工夫したり，家族や地域の人，幼稚園の友達とのふれ合いを大切にしたりして，楽しく過ごすことができる。 冬の自然を利用して遊び，自然に親しみながら，四季の変化や季節によって生活の様子が変わること気付くことができる。 一年間の自分を振り返り，成長に気づく。 自分の思いや願い，相手（1年生や園児）意識をもって会の準備・進行ができる。 よりよいおもちゃにするために，自分で考えたり，他者の工夫を取り入れたりする。 おもちゃの良さや作り方のコツを園児や1年生に伝えながら一緒に作り，楽しく遊ぶことができる。 	<p>先生、友達と一緒に作るぞ</p> <p>自分で作ってみるぞ</p> <p>みんなを招待して、一緒に作って遊ぼう</p>